

# 中1理科 地層から読み取る大地の変化 第1回 地層のつくりとはたらき

---

講師：山崎 翔平

## <学習内容>

▶地層

▶地層のでき方

# 地層

## ■地層

大きさや性質の異なる砂や泥などが長い年月をかけて水平方向に積み重なってできたものを**地層**という。

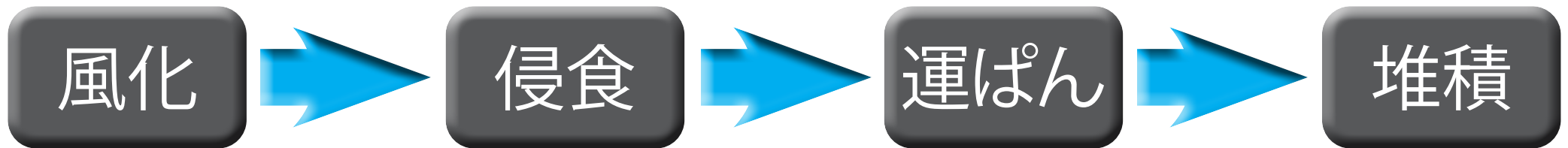


◀  
地層

## 地層の作り方①

### ■地層の作り方

地層は「風化⇒侵食⇒運ぱん⇒堆積」の一連の作用が何度も繰り返されることによってつくられる。



※風 化：気温の変化や風雨のはたらきによりもろくなること。

※侵 食：(川などに) けずられること。

※運ぱん：(川の水の流れにより) 運ばれること。

※堆 積：(川の流れのゆるやかなところに) たまること。

## 地層の作り方 ②

### ■川による砂の運ぱん

川の流れが弱まる所に山から砂が運ぱんされ、扇状地や三角州などといった地形が形成される。

【川の上流部】 れきのような粒の大きなものが堆積する。

【川の下流部】 砂や泥などのような粒の小さなものが堆積する。

粒の名称	粒の大きさ
れき	2mm以上
砂	0.06mm～2mm
泥	0.06mm以下

## 基本問題 ①

次の①～④の作用のはたらきに適する語句を、あとのア～エから選びなさい。

- ① 川の流れのゆるやかなところにたまること。
- ② 気温の変化や風雨のはたらきによりもろくなること。
- ③ 川の水の流れにより運ばれること。
- ④ 川などにけずられること。

ア. 風化      イ. 侵食      ウ. 運ぱん      エ. 堆積

① エ      ② ア      ③ ウ      ④ イ

## 基本問題 ②

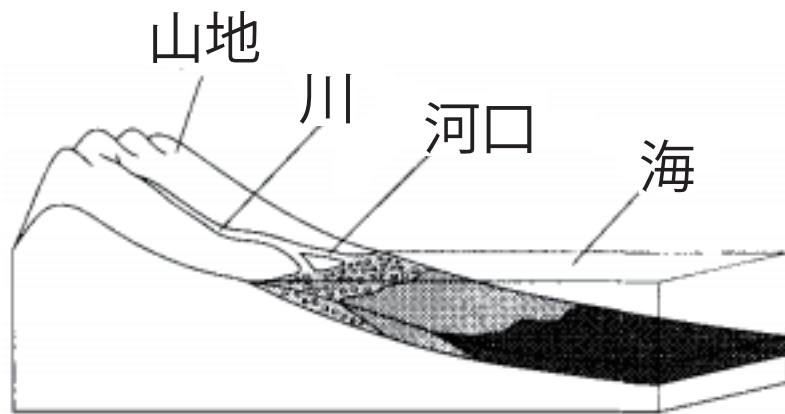
砂, 泥, れきを粒の小さい順に並べかえなさい。

泥 < 砂 < れき

## 入試問題（平成 24 年度 三重県公立高校入試問題・改）

次の①・②の観察や実験について、あとの各問いに答えなさい。

- ① 図 1 は、表面がぼろぼろになってくずれやすくなった岩石が侵食され、砂、泥、れきとなり、水の流れによって運ばんされ、河口や海などにたい積するようすを模式的に表したものである。
- ② 図 2 のように、フラスコに水と砂、泥、れきを混ぜたものを入れ、粒の大きさによる沈み方の違いを調べた。



(図 1)



(図 2)

## 入試問題（平成 24 年度 三重県公立高校入試問題・改）

- (1) ①の下線部について、気温の変化や風雨などのはたらきによって、長い間に岩石の表面がぼろぼろになってくずれやすくなることを何とというか、その名称を書きなさい。

風化



## 入試問題（平成 24 年度 三重県公立高校入試問題・改）

- (2) ②について、フラスコを数回ひっくり返し、砂、泥、れきをよく混ぜ、フラスコを上下逆向きにしたまましばらく放置すると、砂、泥、れきはどのような順に沈むか、速く沈む順に、左から並べて書きなさい。

れき → 砂 → 泥